



ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

すごい雨です カマキリ最終形

雨の中観察することもあります。このように連続して降るとは思いませんでした。日本中降雨量の記録更新と災害、真夏であることを忘れてしまいます。8月16日雨がやみ歩きました。



子どもたちに人気者のカマキリ。最近成虫に出会うようになりました。カマキリは不完全変態ですから、大小の変化しか見えにくいですが飛べるようになるのが一番の証でしょう。



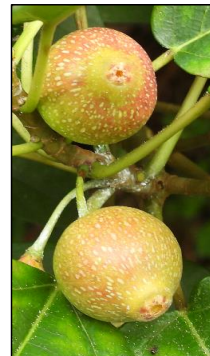
10/16、雨上がりの公園に出かけて出会いました。虫たちも長雨で困っていたことでしょう。虫たちが動かないとカマキリもお腹ペコペコだったでしょう。気がたっていたでしょう。とってもらいしく見えました。

写真上 大きなカマキリに出会うと種類にこだわります。胸元の色は？
写真下 カマキリのカマはすごかった。久しぶりにしっかりとカマをたてられました。スパッと切れ血がにじんでました。



脱皮したて？

こちらは褐色タイプのもの、ひよこんと顔を見せました。全体を撮ろうとしたのが②の写真、うまく入らなかったのですが、それよりもぬげから確認しました。③はそれを拡大したもので細長い脚の部分や目にあたる部分も確認できました。カマキリやナナフシなど、足が長くて細いと脱皮は大変です。



オナガゲモ ①の木の枝みたいのが動き始めると②ようになります。今は小さくて見つけにくいですが結構います。

シュレーゲルアオガエル
アマガエルではありません

ことしのイヌビワはすごく熟しています。イチジクの仲間としての証の写真です



ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

台風が過ぎました 先日の台風も予想以上の被害を各地にもたらし通過していきます。私も甘く見ていました。最接近後風が強くなりました。熱帯低気圧が、温帯低気圧に変わるということも急にトーンダウンしてしまうように見てしまいます。連続性のものが急にちがうものになった気がします。

木の実は大丈夫か？ 実りを迎える田んぼの稲や畑の作物、出荷前の多くの果樹、自分の身の安全以上に心配されている方が多いでしょう。公園内にある実のなる木がどんなに心配でした



公園の入り口のイチヨウのプロムナード。何本かはギンソンの実がなっています。少し黄色みが出ている様子しい怒りついています。



いろんなところで自生しているミツバカケビ。この株はたわわです。一か所に4つついているのでしょうかびっくりです。



びっしりとついているヤマハゼの実。小さい実なので風の心配はないですがたわわに実る枝は重くて、風で折れる場合があります



一本だけですが植えられているオニグルミの木、年々実の数を増やしています。大きな実で結構落ちやすいですが一個も落ちてませんでした



ウスバキトンボ 風を楽しんでいるかのように飛んでましたが雨が降り始めると枝にとまりました



モンクロシャチホコガ 風に飛ばされて出てきました。連日、成虫を見かけます。ということはまもなく幼虫が



ベッコウハゴロモ 普段は枝で並んでいるのを見かけますが、この時は葉っぱ裏あらがにがり

風をしのぐ虫たち



ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>



ユリノキの紅葉? 高木のユリノキ、葉を黄色くして葉を落とし始めていました。公園の中の木では、一番大きな葉っぱをもち、好天の猛暑対応のため落としていったのだと思います。8/3のシッカリした雨は、木々に一息つかせました。

8/3雨上がりの公園

いろんな雨がありますが、大きな雨の際中は生き物たちは耐えています。その分雨が上がると一斉に動き出します。雨のせいで勘違いな行動も



ツツクボウシの羽化

午前11時、セミの羽化がこんな時間に行われるのはまずないです。朝方大きな雨量で暗かったせいで、出て来る時間を間違っているのかもしれませんが。同じ場所で1時間、無理かもです。背中割れも進んでいなく、このまま息絶えるかも



真昼のヒゲラシ

ロクハ公園では森の中でヒゲラシが昼間から鳴いていますが、この時は園内通路で真昼間、カナカナと泣き始めました。ヒゲラシの記録は夕方の記録になりやすくむずかしいのラッキーでした。



日中にカブトムシに出会えるのは運がいいです。いくら樹液が出ていても、カブトムシはどこかに潜っています。この時は、全部で10匹出会いました。大きい雨の時間帯、樹液が薄くなっておいしくなかったのでしょう。雨降りて来園者が少なく、捕獲されることがなかったのかもしれない。



先の昆虫観察会で参加者がカタツムリを見つけとろうとされてましたが、ぴっちり吸着していませんでした。今日のカタツムリは思いっきり顔をだしてました。



ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>



猛暑が続くと・・・

ロクハ公園の植物群は、ここが造成される前に長らく自生していたものと造園を通して移植されたもの、造園で新しい環境を手に入れたもの、などいろいろです。芽生えからその場所にいるものは暑さ寒さ、風雨にも強いように思います。

梅雨明けから一挙に猛暑、一滴も雨がなく多目的広場の芝生は息絶え絶え、職員さんが散水されてました。夕立があれば猛暑もだいじょうぶなんですがね。ご苦労さまです。

カラスザンショウ満開

けっこう高くなる木です。夏のこの時期に花をつけいっぱいの実をつけます。秋以降、みのった実は野鳥の大好物。花の時期は、多くの昆虫が集まります。



雄株・雌株があります。上の写真は雄株上の雄花です。黄色い花粉がいっぱいです。

下の写真はキムネクマバチ、この花の上でこそそして花粉をつけていきます。幼虫のエサにします。ハチは雄株ばかりに行くのではなく、蜜がおいしい雌株にも行き、無意花粉を運ぶという活動をしています。

写真は7/27を中心に撮影したものを載せました



アオスジアゲハ・モンキアゲハストローで蜜ねらい



エントツドロバチも花粉だらけ



キムネクマバチの花粉運び

今の時期、咲き誇り注目している花です。虫たちが集まります。



セリの花

キアゲハの産卵で丸裸にされた株も勢いを取り戻し花をつけていました



ヤブガラシの花

藪をも枯らしてしまうほどはびこって増殖します。この花もむしたちのおこのみです。



ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>



昆虫酒場本店営業中

昆虫酒場本店

ロクハ公園最大の酒場、梅雨明けを待ってましたと、常連客が集まりました。ここに集まるのは樹液目当ての日中組、夜は夜で少し様子が違います。日中では、ゴマダラチョウは欠かせませんオレンジ色の眼とストローが目立ちます。他に スズメバチ、シロテンハナムグリ、カナブン、クワガタっぽいお尻が見えます。確認できる大型のものだと、カブトムシやコメツキムシ、チョウの仲間にはコムラサキ、ヒカゲチョウ、キマダラヒカゲなど、時に集まる虫をねらうカマキリなんかも

この酒場、自然観察をするものには、とってまわくわくする場所です。何に出会えるか楽しみに訪れます。観察ポイントとして保護もしていますが、時にトラップが仕掛けられたり、殺虫剤でスズメバチを駆除している光景に出くわすことがあります。「公園の生きものを見守りましょう」と機会あるごとに呼びかけます。動植物を自分のものにするより公園を訪れる楽しみにしていたほうが良いと思います。



セミの羽化

2021/07/17



2020/07/22



2020/07/24

7月17日(土) この日のナイトツアーはセミの羽化を生で見ることを目標でした。森に入り、目が慣れ始めると土の中から出て来る幼虫に出会えます。近くの木を目指し懸命です。背中が割れ成虫が出てきます。最終まで2・3時間命がけです。4枚目は朝方から開始したもの。危険がいっぱいの中の羽化でした



2021/07/14



2021/07/16



カワセミ

4月5月6月と姿が見えなくて心配していましたが、最近よく見られるようになりました。多くて2羽見ますが、どちらも幼鳥でみです。人けが増える夏、遠慮せずに来てほしいです。



ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>



セミの抜け殻

26mmの紙の上に2種類のセミの抜け殻を置いてあります。大きいほうがアブラゼミ、小さいほうがニイニゼミ。草津市あたりで見られるのは6種類、最初の見分け基準が26mmが便利だそうです。

梅雨明け間近 真夏の公園へ

ニイニゼミは梅雨の最中に始めました。この日(7/12)見つけたのはアブラゼミの抜け殻、数個見つけました。梅雨が明けないとアブラゼミはと思っているのです。気象庁の発表はまだですが、ロクハのセミは夏宣言！ 連日大きな災害につながる降雨の報道がありとても心配です。川や斜面、山などの心配がないところでも一機にふり長時間続く状況では災害につながる可能性があります。

シオカラトンボ と オオシオカラトンボ



7/9

2018/6/11

2018/6/30

早くに飛び回っていますが、夏休みの代表選手のように感じる方が多いのではないのでしょうか。ポピュラーなトンボで今の子どももかつての子どもも同じ姿を見ていると思います。他の種類もいるのですが大きくてシオカラトンボと呼んできたように思います。2種の見分けは翅の付け根がわかりやすいです。シオカラトンボの翅はすべて透明、オオシオカラトンボは翅の付け根が黒いです

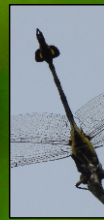
コオニヤンマ

7/9



7/9

ウチワヤンマ



ギンヤンマ

2018/08/25



大型のトンボ

公園内で見られる大型のトンボは上記の3種がよく観察されます。他にもいますがコオニヤンマ オニヤンマと似た体色・模様川原池の周り・園路を周回しながらエサを探しています。オニヤンマはここでは見かけません。ウチワヤンマ 尾の先についているものをウチワとして見立てています。梢に停まっていること多々
ギンヤンマ 胸と腹の境目の水色が特徴、飛んでいてもこの水色がよく目立ちわかりやすい

他にも

比較的に見つけやすいトンボがいます。チョウトンボは場所が限定され数は少ない

7/5 コシアキトンボ



ハラビロトンボ

6/29



チョウトンボ

2019/8/1



秋によく観察される赤トンボと呼ばれる仲間も顔を出し始めています。



ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>



梅雨の末期・災害にもつながる本格的な雨

梅雨の末期の強い雨は、予想していても想定を超える形で自然の力を見せつけます。備えが大切です。一週間雨が多くカタツムリの王国です。7/1からは屋外プールもオープンし、カッパの王国です。



キノコがもこもこ雨の季節をよろこんでいます。

6/26キノコウォッチングを行いました。その週は少し雨が少なくキノコの出現を心配しましたが次から次へと観察できました。その後連日雨が降り色々なところで顔を出しています。



シイタケの菌糸



キノコの本体は写真のような菌糸で、どのキノコも同じ感じだそうです。顕微鏡や専門的な観察だとわかるのだと思います。その菌糸は、通常は土中とか菌糸がはびこる場所の中で、見ることはありません。私たちが目にするキノコは木にたてるなら花にあたるそうです。花は実となり種になりますが、キノコは孢子をつくり繁殖をひろげます。公園内で色々なタイプのキノコが、こっそりと、堂々と生活しています。植物が朽ちて新たに伸びていくために腐敗をしていきますが、その役割を担っているのはきのこだそうです。何日もかかって成長するものと、早朝出たら日を浴びてしぼむものなどいろいろです。うっかりキノコを食べて体調を崩すことは、公園のような場所で毎年あるそうです。おいしそうに見えても絶対に食べてはいけません。



今ジャガイモみたいな様子ですキノコ特有の傘を開くことはありません。



どれもコピーを撮ったような丸で何本も出ていました



とっても小さく目を凝らしてみないと見えません 柄は細いですが凛としています



観察会のとき出てました。ソウメンタケ



けっこう大きいです、サルノコシカケという名前がつく仲間です

6/21



カブトムシの仲間です。近頃はオオムシがいます



公園のキノコ観察会で見ました。シロクワの仲間です



カブトムシ観察会で見ました。オオムシです



ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>



スズメバチ

スズメなんてかわいい名前をどうしてもらったんだろうと思います。虎バチぐらいが適当かと思います。夏から秋にかけて注意すべき昆虫です。クマンバチという言い方は、クマのような驚異のハチとしてスズメバチのことをさすそうです。ロクハ公園の中で、スズメバチをいなくすることはできません。スズメバチのことをよく知り彼らの生活を侵すことがないようにすることが一番です。駆除は緊急手段ですね。写真のスズメバチはオオスズメバチ、地下に巣をつくるので、うっかり近づき被害があることがあります

コガタスズメバチの巣1か月

観察しやすく人けのないところに巣を見つけたので観察を続けました。思っていたより速いスピードですが変化していきました。



5/11



5/18



6/3



6/10

5月11日に巣が出来上がっていたのを確認しました。すごく見やすい場所だったのでどんなふうに巣が大きくなるか楽しみでした。しかし大きな変化がなく子育てが大変だと思っていた。最初一匹からの開始です。入り口を伸ばした削ったりは何の意味があるのか不思議でした。



6/12a



6/12b



6/13



6/14



6/15



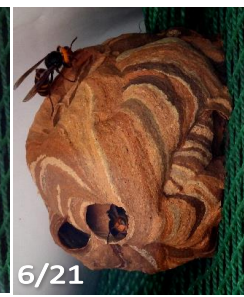
6/17

6月12日大きな動きがありました。観察が1日抜けたのでごろっと雰囲気が変わりました。2枚の写真の時間差は2時間です。ぐっとまだらが濃くなってきました。巣の建材を集める役割のハチが複数いることを意味するのだと思います。

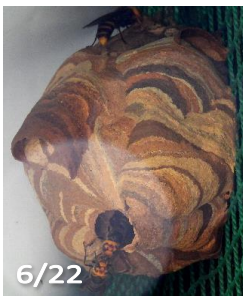
12日から13日の変化にはびっくりしました。日変化を追っていかないとこの部分が変化したかわかりにくいです。15日と17日で残っている模様はすくなく少ないです。かろうじて残った模様を照らすことができます。外壁がどんどん作られながら大きくなります。おそらく内部では内壁がけずられ子育てエリアが拡大されて行っていると予想されます。



6/19



6/21



6/22

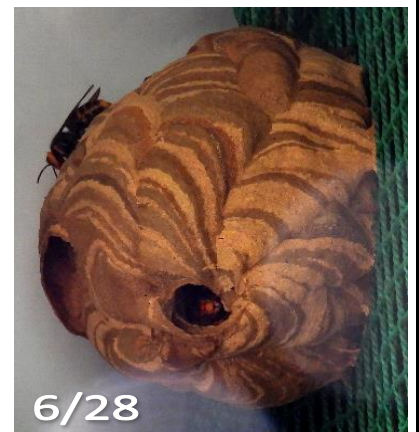


6/23

巣に頻繁に出入りするハチが多くなりました。模様を作る役割のハチが削ってくる木の違いで出来上がります。6/23の真ん中の模様部分は2匹が担当しているように感じます。これ以上大きくなると駆除に専門家が必要とするので終わりとなります。

写真をつけて動画にしました。

<https://www.facebook.com/rokuhapark/posts/1986191664866666>



6/28



ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>



夏至のころ・ネジバナ

夏至は太陽が出ている時間が一番長い日です。24節気は1年を24に分ける曆でこの日から2週間ぐらいの期間を表します。太陽の位置的には一番高く上がる日に当たるようです。期間の開始を告げる日のようです。

私の年中ごよみの中で、24節気と合わせて咲く花が2種類あってその一つが、このネジバナです。いつのころか夏至といわれると、どこかで咲いている、あの場所では咲いているかと気をもみます。このように突っ立って咲くには、突っ立って咲く条件があります。周りが草ぼうぼうの場所では見えないし、育ちもしないみたいです。公園で咲く場所も芝生のところや、草刈り作業が夏至手前で行われたところ限定されます。名前の通りらせん状につく花序は不思議ですしこの色合いが淡く好きです。この後、種もできるだろうと思うのですが意識してみるのはこの時期だけだと実感します。今年は暑いと言われようが、この花は太陽の位置を読んでいるみたいに感じます。

不思議な虫 は・ご・ろ・も



ベッコウハゴロモ

成虫2017年7月27日撮影

枝がまっすぐになって病弱かなと思うことよくあります。今回もそんなのに出会いましたカビか虫かと思いつつ見ていると動きます。よく見ようと思い枝を動かすと逃げます。生き物であると確認はできましたが、はっきりとなく、撮っては家で確認し3回トライしました。

ベッコウハゴロモの幼虫であるとわかりました。カメムシの仲間でセミやよコバエにそっくりです。はっきりとした記述がないのですが、幼虫のこの白いものをまとうのが「羽衣」になった名前のようです。その中でもベッコウハゴロモは「羽衣」が一番きれいです。ロウ質の分泌物が糸状になって伸びるようで、つかないものが枝にもつくようです。6/21の図はOOお尻を観察していることとなります。カメムシ類は不完全変態、最終脱皮で翅をもつ成虫になります。2017年のベッコウハゴロモの記事に幼虫に出会いたいと書いていました。



ミドリハカタカラクサ

トキワツユクサ、ノミドリハカタカラクサと同種と別種の記述があります。とにかくツユクサの仲間です



ヤマモモの実

今完熟の時、ヒヨドリがついばんでいるのをよく見ますが他はあまり関心がないようです。人も、「



ネムノキ開花

綺麗な花です。高木になり園内に2か所あるのですが花は高い場所で意識しないと見つけにくいですが



ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>



中央花壇でイヌのおまわりさんが看板を持っています。その看板ですが時々変わります。その時々や世相も反映しての看板です。職員さんのいきな仕事です。つい最近変わりました。ロクハの自然の一部として観察しています

過去の作品



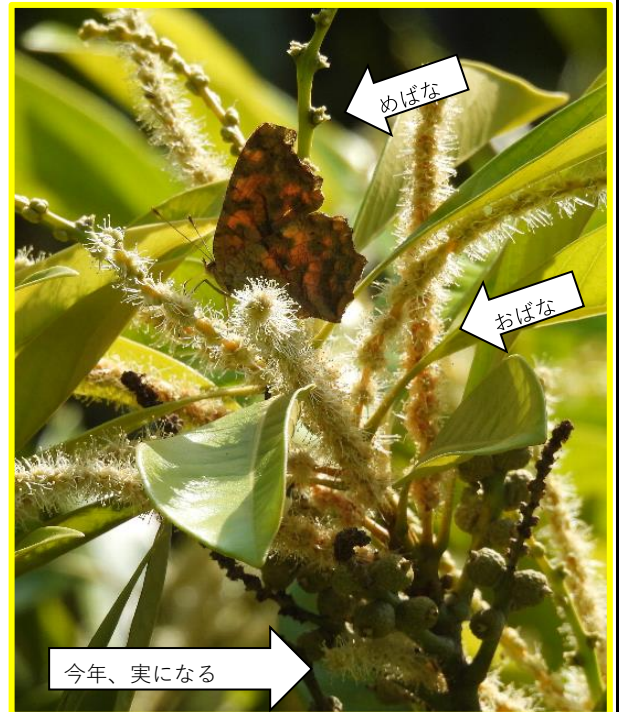
クリの花

今クリの花がたくさん咲いています。クリの木が白く見えるほど穂状の花が咲き、あたりにはおいがすごいです。



あの花が全部クリの実になるのでなく、くりになっていくめばなは少ないです。一枝に2、3個ぐらいついていてよく見るとその違いが判ります。フワフワとトゲトゲ観察してみてください。

マテバシイの花



チョウの後に立ってるのがめばなが集る穂です。クリのおばなと同じようにフワフワのオシベが出ているのがおばな今年受粉して、来年大きな実になり、落ちます。下のほうに今年、実になるものが見えます。

今年、実になる

夏に向かって、虫たちもそろそろ



ヒカゲチョウ
タテハチョウ-ジャノメチョウの一種
名の通り日陰、木陰、樹間でよく見られ樹液を無心に吸っている様子が見られる



ホタルガ
ホタルガ飛び交う時期に出てくる蛾
頭が赤くて羽根が黒い虫とよく似た色
白い部分が発光していることになるか



ナガゴマフカミキリ
カミキリムシの仲間結構たくさんいます。
公園の中で見られるものももっともといそ
うです。葉っぱの上だと丸見えの柄です。



コクワガタ
公園内で見られるのは4種ぐらい。クワガタの
中では小型、はさみ(あご)が短い。公園では
ノコギリクワガタが一番見られる